競 技 注 意 事 項

1．本競技会は2023年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項により行う。

2022年1月1日にWA競技規則TR 5の改正と、新たな「競技用靴に関する規定」に基づき、靴底の厚さのチェックは実施しない。ただし、審判長はいつでもシューズチェックする権限を持ち、参加者はその指示に従わなければならず、競技後シューズの違反が認められたときは、「失格扱い」となり、記録が取り消される場合がある。（スパイクピンのチェックは招集時に行う。）

○靴底の厚さに関する規定(TR5.13.3）表

種目	靴底最大の厚さ (TR5.5TR5.13.3)	要件・備考
フィールド種目（除：三段跳）	20 mm	投てき種目と三段跳を除く跳躍種目に適用する。 全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25 mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 （ハードル種目を含み、800m未満の種目）	20 mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目 （障害物競走を含み、800m以上の種目）	25 mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。 （競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは40mm）
道路競技　（競走、競歩）	40 mm	

※本記録会は、フィールド競技シューズ規則（上記）の適用を除外する。

2．競技場への入場について

南役員室横・北役員室横入口を開放する。

3．練習について

(1）競技会開始前のトラックを利用しての練習は、競技開始の30分前までとする。

〔ホームストレート・バックストレート〕（ジョグはレーン外）

・1～2 レーンは長距離ペース走用

・3～5 レーン＝コーナーからのスプリント練習　・6～8 レーン＝直線からのからのスプリント練習

※順番待ち等は密を避けるように距離を保って待つこと。

(2）競技場内、公園内でのリレー練習は一切認めない。

(3）ハードル種目の練習は、競技開始前にハードル設置後に行うこと。

(4）競技場内はメディシンボールなど、物を投げる練習は禁止とする。

(5）投擲・跳躍競技は準備が整った後、競技役員の指示で練習してもよい。

4．招集について

※招集所へのスマートフォン・携帯電話等の通信機器の持ち込みは禁止する

※下記の時間帯に招集を完了できなかった場合は出場できない。

(1）招集場所は北役員室に設ける

・トラック種目　：競技開始時刻の30分前開始　20分前完了

・フィールド種目：競技開始時刻の50分前開始　40分前完了（棒高跳のみ90分前開始　80分前完了）

・上半身競技服装（アスリートビブスを付けていること）になり、スパイクチェックを受け、腰ナンバーを受け取る。腰ナンバーは800ｍ以上の長距離種目のみ使用する。

(2）招集に遅れた競技者は欠場として処理する。但し、種目を同時刻に兼ねて出場する場合は、代理人を認める。（本大会は「多種目同時出場届」を使用しません）

(3) リレーについて

・リレーのオーダー用紙は、第１組の招集完了時刻の１時間前までに招集所に提出すること。

・リレーの一次招集は４人揃って受けること。

(4) やむを得ず欠場する場合は、欠場届を招集所へ提出する。

５．競技について

(1) トラック種目では、すべてタイムレースとする。

(2) 腰ナンバーカードはトラック種目の 800m、1500m、3000mのみ使用する。

(3) スパイクのピンは、本数は11本以内とし、9mm以下のものを使用すること。ただし、走高跳・やり投については12mm以下とする。また、直径は先端近く（少なくとも長さの半分）で、4mm 四方の定規に適合するように作られていなければならない。

(4) 短距離競走は、フィニッシュラインを過ぎてもレーンに沿って走ること。

(5) 競技エリア内に通信機器（携帯電話等）やビデオ撮影機器（タブレット等）を持ち込んではならない。また、競技エリア内で助力を与えたり受けたりしている競技者は失格の対象となる。フィールド競技中に競技者が、それ以前の試技の映像を、録画再生機器などをスタンドからの手渡しや吊り下げる等により競技エリア内に持ち込むことは認めない。

(6) 集団での声援（応援）及び不正な助言行動は自粛すること。

(7) フィールド種目について

①トップ 8 は行わない。

②走幅跳・三段跳におけるカットラインは当日に跳躍審判長と主任で決定する。

③走幅跳は 1 組（メインスタンド前トラック側）、2 組（メインスタンド側）で行う。高跳は第二曲走路外側の北ピットで行う。棒高跳はバックピットで行う。

④走高跳バーの上げ方は下記のとおりとする。※棒高跳は当日現地で決定する。

走高跳	男子：145 練習　1.50 より 1.90 までは 5cm　以降 3cm ずつ 女子：115 練習　1.20 より 1.45 までは 5cm　以降 3cm ずつ

⑤投てき競技や棒高跳びの滑り止めについては、主催者は準備しないので、個人で持参すること。

(8) フィールド競技の試技制限時間（単独種目）

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4 人以上	1 分	1 分	1 分
2～3 人	1 分 30 秒	2 分	1 分
1 人	3 分	5 分	－
連続試技※	2 分	3 分	2 分

※4人以上または各競技者の最初の競技

※走高跳･棒高跳では、残っている競技者が二人以上で、同一の高さの時のみ適用する。

６．やり及びポール以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。やりの検定は、競技開始時刻の 90 分前より 30 分間、用器具庫（100m スタート横）で行う。

７．各種目６位入賞者に表彰状があるので、本部まで取りに来ること。

閉会式は行いません。総合・男子・女子１～６位の学校は表彰状を本部までとりに来てください。

得点は１位８点・・・８位１点とする。

各種目において申し込みが３校以下であった場合、該当種目は対抗得点からはずすこととする。

（賞状はある）

８．競技場の使用について

(1) テントの設営について

正面スタンドには準備校のみ設置を許可する。ただし、砂場の踏切板付近のスタンドはコーチング席とし、場所取りをしないこと。また、保護者も観戦できるように譲り合って座ること。

(2)使用した場所は各学校で責任を持って清掃し、ゴミは必ず持ち帰ること。

(3)トラック、フィールドおよび練習走路以外でのスパイクの着用は禁止する。

(4)ウォーミングアップは、ウォーミングアップエリア（野球場）で行うこと。周回コースを集団で走らないこと。

(4)陸上競技場から体育館へ通じる通路または体育館内フロア周辺への場所取りは禁止する。他の競技団体が使用しているため、トイレ・更衣以外は本部の許可がない限り入らないこと。

(5)トイレは①公園内、②正面スタンド裏側の体育館側２階、③体育館１階（競技場から体育館への入口すぐ）を使用すること。

９．その他

(1) 顧問の受付がない学校の競技者の出場は認めない。

(2) **プログラムは、配布しないので各校で印刷準備すること。**

(3) 競技中に起こった怪我は、本部の医務室で応急処置のみを行う。

(4) 記録は、南役員室入口横の掲示およびWEB ページで確認すること。(記録ボードは設置しない)

(5) 全ての競技者は、競技終了後に手洗い・消毒を行ってから退場すること。

(6) 盗難の発生や忘れ物に注意し、荷物等の管理は各校で十分注意すること。

(7) ゴミはすべて各自持ち帰ること。

(8) プログラム記載の個人情報（氏名、学校名など）および大会結果は、大阪陸上競技協会・大阪高体連陸上競技専門部３・４地区WEB サイトに記載されるが、本大会関係以外には一切使用しません。

(9)Ｊアラート警報が発令された場合は、競技を中断する場合がある。